

いかに国家の安全を守るか



中井町での「お茶会」で地域の女性と意見交換する
牧島かれん支部長



民主政権の外交判断ミス

尖閣諸島の問題、北方領土問題、そして北朝鮮による砲撃事件。民主政権の脆弱さが明確になってきました。「誇りある国がこのままでは消え

党神奈川第17選挙区支部長
牧島 かれん(34)

てしまうのではないか」。地域の女性の方々を中心にお話を伺っているところのような多くの不安の声が聞かれます。

私たちはこれを機に、日本の危機管理、情報管理の重要性を再認識し、今後に向けた話し合いを始めなければなりません。

北朝鮮による韓国・延坪島の砲撃事件では、現政権下での初動対応の遅れ、危機意識の低さが露わになってきています。事件発生を国民と同じタイミングの「報道」によって知

日本政府の対応のスピードは問題視されるべきですが、この緊張関係は継続中です。今後の対応についても迅速に議論をすすめるべきです。

今後どのような攻撃があった場合には、いつ誰がどの組織を立ち上げ、どのようなルートで声明を発表し、日本はいかなる対応をするべきか。発生しうる事態を綿密に想定し、行動をシミュレーションしておくことが重要だと考えています。

昨年、大井町の支部の皆さんと、横須賀の軍艦三笠を訪れました。

危機管理能力を強化し 未来に責任を持つ政治を

らされ、その上、総理官邸には事実把握から70分以上も政治家がゼロ。砲撃への「非難声明」までは7時間が経過し、真夜中に事件を把握したアメリカからも後れを取ったかたちとなりました。外交判断の遅れとミスは国家の安全に対する致命傷となりま

国際社会での国家戦略

日本では情報戦線や情報管理に対してネガティブな印象があるように思いますが、世界情勢を見ても、国家の安全を守る上で、情報の管理と掌握は国家戦略の中で重要な位置を占め、危機的状況を回避し、国家間交渉を行うのに避けて通れなくなっています。

アメリカではCIA(中央情報局)などがその役割を担っています。日本も、機密情報を扱うことのできる人材の育成と体制を整えるべき時が来ているのではないのでしょうか。

日々政治が動いている中で、マスメディアが伝えきれない複雑な課題を、国民の皆さまにわかりやすく説明していくことも政治の責任と考えます。地道な活動が政治への信頼を取り戻す一歩だと確信しつつ、日本の未来に責任を持つ政治を実現してまいります。

ここからもシミュレーションの重要性を学ぶことができます。シミュレーションの徹底と同時に、激しい情報戦線が繰り広げられる国際社会の中で、情報(インテリジェンス)を集め、玉石混濁の情報をより分け、分析。それを政府に伝

達する人材を確保し、管理を行う専門の機関を設置することも検討すべきだと考えています。

同時に、外交政策の基本方針と、危機管理の対応策について国民に理解を求め、重要なことと考えるべきです。



大井町支部の研修バス旅行で
横須賀、三崎、横浜へ



自民党足柄上郡連絡会で党本部の会議の報告をする牧島かれん支部長



河野太郎衆院議員とツイッターのライブで質問を受け付けた

牧島 かれん (まきしま・かれん)

昭和51年生まれ、小田原市在住。横浜雙葉高校、国際基督教大学(ICU)を経て、米ジョージ・ワシントン大学ポリティカルマネジメント大学院修了、エール大学ウィメンズキャンパースクール修了。平成16年、NHKBSドキュメンタリー番組コーディネーター。ICUで学術博士(行政学)取得。20年、慶應義塾大学大学院非常勤講師。現在は早稲田大学総合研究機構客員次席研究員。社団法人かながわ民間教育協会理事。党神奈川第17選挙区支部長として政治学の研究を实践の場で活かすべく活動中。

牧島 かれん事務所

神奈川=〒250-0862 小田原市成田178-1
電話: 0465-38-3388 FAX: 0465-38-4400
E-mail: contact@makishimakaren.com
Twitter: @makishimakaren

牧島 かれんホームページ

<http://www.makishimakaren.com>